

台風11号

災害発生日 平成17年8月25日～26日

主な被災地 東北・関東・中部地方

首都圏直撃で都市機能がマヒ ライフラインや交通機関に大打撃

首都圏を直撃した台風11号は、1都9県に大きな被害をもたらした。各地でライフラインが寸断され、交通機関もマヒ。住民生活に多大な影響を及ぼした。人的被害は負傷者10人。住家被害は半壊3棟、一部破損126棟。

箱根で雨量が、大島で風速がともに観測史上最高を記録

8月20日に硫黄島（東京都小笠原村）の近海で発生した台風11号は、徐々に勢力を強めながら北上し、26日には千葉県に上陸した。その後、勢力を弱めながら時速10～20kmのゆっくりとした速度で北東に進んで太平洋に抜け、28日に北海道沖で温帯低気圧に変わった。

この台風で、神奈川県は25日夜から26日未明にかけて激しい暴風雨に見舞われた。倒木による高圧線断線の影響で県西部と横浜、横須賀の両市で約8000世帯が

停電し、箱根町では25日の日雨量が観測史上最高となる528mmを記録。町営の造成温泉施設が破損して温泉の供給がストップしたほか、湯本中学校体育館の鉄板屋根約700㎡の半分が暴風で飛ばされるなど、県内各地で暴風雨による被害が相次いだ。

静岡県でも、豪雨により狩野川の水位が危険水位を超え、川沿いの大岡、木瀬川地区の道路が冠水、沼津市で320世帯に避難勧告が出された。

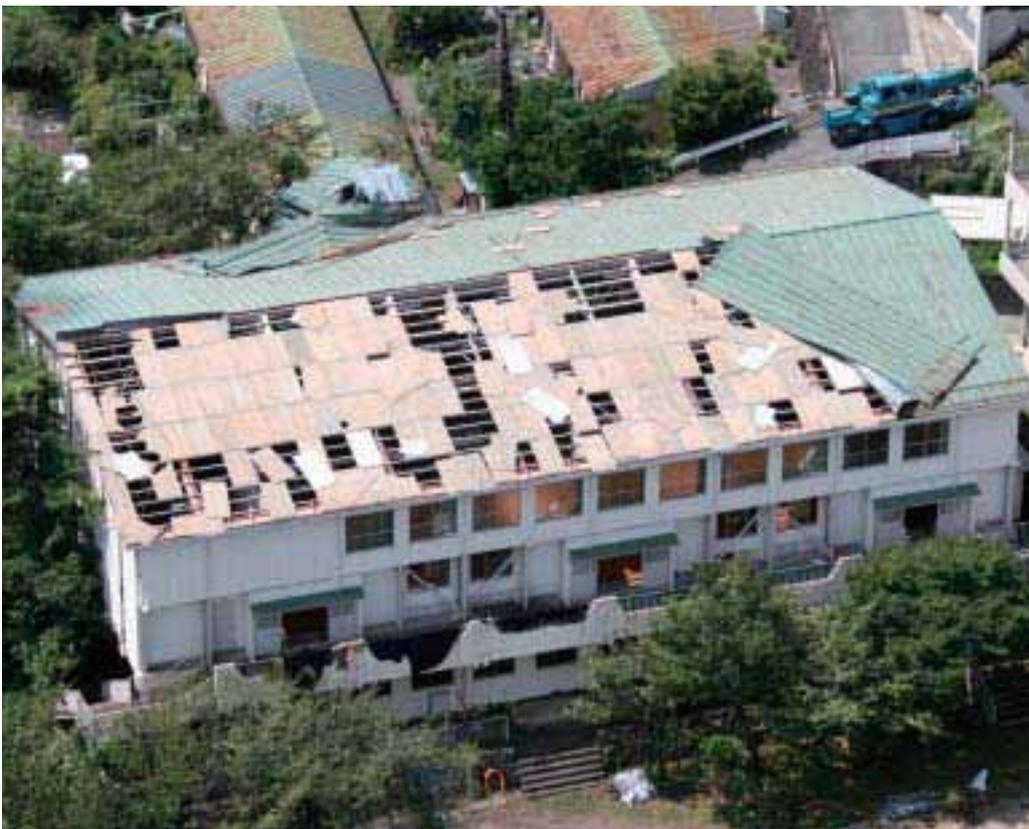
東京都や千葉県でも暴風が猛威を振った。大島では観測史上最高となる最大瞬間風速57.0m/sを記録した。館山、鴨



川両市を中心に約2万3000世帯が停電、50世帯が断水に見舞われ、さらにKDDIとボーダフォンの基地局が暴風雨の影響で停電し、東京都、静岡県、千葉県の一部地域で携帯電話が一時使用できなくなるなどライフラインも影響を受けた。

交通機関にも大きな被害 2000人が新幹線車両内に宿泊

大雨の影響で各地の交通機関も大混乱に陥った。JR東海道新幹線のダイヤは大幅に乱れ、25日夕方から夜にかけて断続的に運転が見合わされた。そのため、JR東京駅には26日0時を過ぎてからも20本以上の新幹線が到着。帰宅手段を失った約2000人の乗客が、宿泊用に提供された車両内で不安な一夜を過ごした。鉄道の運転中止区間は延べ26区間に達し、他の交通機関では航空機や高速バスの欠航も相次いだ。



強風で屋根がはがれ落ちた湯本中学校の体育館（神奈川県箱根町）（写真提供／毎日新聞社）



台風接近で高波が押し寄せる（静岡県由比町）（写真提供／読売新聞社）